

感動一点の場

『浅春譜』

1969年 小川原 脩 画

修復のため東京へと送られていた作品が、美術館に帰ってきました。1969年に小川原脩が描いた「浅春譜」という作品です。当時、北海道で活躍する現役作家を集めた第2回北海道秀作美術展（1969年、北海道立美術館）などに出品されました。小川原の作品テーマが動物たちが中心となっていたのは、ちょうどこの頃からでした。

1点の作品なのですが、上下にくっきりと分かれ、ふたつの絵があるようにも見えます。上半分は時の流れのように着々と歩を進める馬、下半分には地中から顔をのぞかせる水芭蕉が大きく描かれています。踏みしめる大地であり、生命を覆う雪原でもある、濃紺の太い平行線。この画面を2分する線が、ダイナミックな北国の季節の移り変わりを示しているのです。

爽やかな季節感を醸し出すこの作品はとても人気がありますが、損傷が激しく数年間展示をお休みしていました。滑らかな絵肌はパレットナイフを使ったもので、この薄い絵の具の重なりの中に空気が入り、剥がれなどを引き起こしていたのです。ぜひ修復後の、艶やかに蘇った姿をご覧ください。

文：沼田 絵美（小川原脩記念美術館 学芸員）



—蝦夷富士に似合う春のチョウ—

ふる探訪

432回

雪が解け景色が徐々に色づきはじめると、日当たりのいい草地や林道にクジャクチョウが姿を現します。厳しい冬を耐え抜き鮮やかな翅を広げる姿は、生き物のにぎやかな季節が始まることを感じさせます。このチョウ、北海道を含め本州中部以北で見られますが、実は中国やヨーロッパといった外国にも生息しています。クジャクの羽のような模様を持つことへの認識はどこも似ているようで、イギリスなどでも peacock (クジャク) の名前で親しまれています。

さて、生き物はみな2つの名前を持っています。1つは私たちが普段使っている名前。日本ではクジャクチョウとカタカナで表します。もう1つは学名。世界共通の名前で、クジャクチョウは *Inachis io* (Linnaeus, 1758) とラテン語で表します。さらに、ヨーロッパや中国、日本に生息するクジャクチョウはそれぞれ少しだけ姿形が異なる「亜種」の関係にあり、日本に生息するクジャクチョウの亜種名は *Inachis io geisha* (Stichel, 1908) といいます。Stichel は名付け親の名前なので、ここから、「Stichel さんが1908年に日本のクジャクチョウに *geisha* という亜種名をつけたよ」ということがわかるのです。ドイツの昆虫学者 Stichel さんは、鮮やかなこのチョウから日本の芸者を連想したのでしょうか。

海外での日本のイメージに「フジヤマ、ゲイシャ…」というのがありますが、蝦夷富士とクジャクチョウの組み合わせは、羊蹄山麓ならではの「エゾフジ、ゲイシャ」な風景ではないでしょうか。

文：小田桐 亮（倶知安風土館 学芸員）



▲翅を広げるクジャクチョウ

展覧会のお知らせ

■常設展示

小川原脩展 「小川原脩 遙かなるイマージュⅢ」

会 期：開催中～4月14日(日) 会 場：第1展示室

小川原脩展 「私の中の原風景」

アジア各地を旅し、自らの原風景を再発見した小川原脩。大いなる自然と素朴な人々の暮らし、動物たちとの対等な関係など、幼少の頃を過ごした北海道開拓期と重なる世界観を展開する作品群を中心に、画業全体の根底に流れるイメージの原型を探ります。

会 期：4月20日(土)～8月4日(日) 会 場：第1展示室

■企画展示

「くっちゃんART 2019」

会 期：開催中～4月14日(日) 会 場：第2展示室

小川原脩セレクション「花と鳥-1940's」

シュルレアリスム芸術運動に身を投じた1940年代初頭から、戦争へと傾斜する時代を背景とした創作の変容まで、激動の1940年代をクローズアップします。

会 期：4月20日(土)～7月7日(日) 会 場：第2展示室

アート・イベントのお知らせ

■土曜サロン

世界美術館紀行Ⅰ～フランス・パリ①

「ロダン美術館／マルモタン美術館／ギュスターヴ・モロー美術館」

日 時：4月6日(土) 14時～15時30分

お話し：柴 勤（当館館長） 会 場：当館映像ルーム（無料）

アート探訪くみて・きいて>29「イサム・ノグチ～地球を彫刻した男」

日 時：4月13日(土) 14時～15時30分

お話し：柴 勤（当館館長） 会 場：当館映像ルーム（無料）

■アート・トーク

「小川原脩展を楽しもう。ギャラリーツアー」

日 時：4月20日(土) ①10時～ ②14時～（各30分程度）

お話し：沼田 絵美（当館学芸員） 会 場：展覧会場（聴講無料）

■地域文化講座2019

「闘う芸術家たちの話」

日 時：4月27日(土) 18時～19時

お話し：武田 厚さん（多摩美術大学客員教授・元道立近代美術館学芸部長） 会 場：当館ロビー（聴講無料）

■平成31年度展覧会スケジュール

	展覧会名	会 期
第1展示室	小川原脩展「小川原脩 私の中の原風景」	2019年 4月20日(土)～2019年 8月 4日(日)
	道立近代美術館、赤レンガ、北海道大学にある作品が集う開館20周年記念特別展「小川原脩の世界」	2019年 8月10日(土)～2019年11月10日(日)
	開館20周年記念くっちゃん美術展「第61回麓彩会展+くっちゃんART2020」	2019年11月16日(土)～2020年 2月11日(火)
	開館20周年記念展「鼓動する日本画」	2020年 2月16日(土)～2020年 4月12日(日)
第2展示室	小川原脩セレクション「花と鳥-1940's」	2019年 4月20日(土)～2019年 7月 7日(日)
	しりべしミュージアムロード展	2019年 7月13日(土)～2019年 9月23日(日)
	小川原脩セレクション「原始の美-1960's」	2019年 9月28日(土)～2020年 1月13日(日)
	小川原脩展「私が選ぶ小川原脩」	2020年 1月18日(土)～2020年 4月12日(日)

※展覧会の内容、会期は変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください



小川原脩記念美術館 ☎21-4141

観覧料：一 般 500円(400円)
高 校 生 300円(200円)
小中学生 100円(50円)

倶知安風土館 ☎22-6631

観覧料：一 般 200円(100円)
高校生以下、美術館観覧者無料

開館時間は9時～17時

入館は16時30分まで

※()内は10名以上の団体料金

4月の休館日 2日、9日、16日、23日
15～19日展示替え休館

美術館は20歳

「オレは会った人の顔と名前と出身地は忘れない」。アイヌ文化の話聞くため、日高の二風谷村にお訪ねした萱野茂さんが呟いた一言、またまた思い出しました。美術館も忘れられたくない、できたら常に身近な存在と感じて欲しい、と。

当館は、今年のおめでたいよ開館20周年を迎えます。この節目の年に向け、ユニークな企画や新シリーズのイベントも用意しました。皆さまのお力で、皆さまのために作られた素敵な美術館。少しでも多くの方の心に残るよう、思いを新たにしているところです。

館 長 柴 勤